

## 聖書この不思議な本とその魅力

池田 豊

### 比類なき聖書、その不思議な魅力

1991年12月21日、ソビエト連邦という国家が消滅しました。その頃、読売新聞の英語版、「デイリーヨミウリ」紙にとっても興味深い記事が掲載されていました。海外ニュース欄に大見出しで、「無料聖書がソビエト最高会議を中断」と記されていました。

「ソビエト最高会議では、連邦共和国の将来について白熱した討論がなされていた。ところが、メインホールで聖書を無料配布中との情報が入ってくると、議員たちが次々に議場から流れ出た。政治家や料理人、警官、大勢の官僚たちなどが、われ先とばかりに列をなし、15メートルに及ぶ行列が数本できあがった。」

「聖書配布団体のリーダーによると、議会が乱れることは予想していなかったそうだ。彼は、国家が深刻な物不足と政治的混迷に直面している今、聖書こそ政治家にとって、もっとも必要なものだ」と述べている。『混乱したソビエト社会では、議員たちが聖書を手にすべき時を迎えている』と、彼は語っている。」

このようなことが、ほかでもない73年間も、聖書が禁書

となっていたモスクワで起こったのです。しかも日本の大新聞がそれについて取り上げていたのです。

毛沢東の共産主義革命が起こった時、キリスト教の宣教師たちは全員、中国大陸から退去させられました。私の知っている何人かの宣教師も、本当は中国にとどまり宣教をしたかったけれど、革命が起こり、中国に入ることが禁止されてしまい、やむなく日本に宣教師として来たという方々でした。聖書はすべて没収され、廃棄処分となり、焼かれました。中国のクリスチャン達は殺害されたり、投獄されたりしました。このことは、旧ソビエトでも、北朝鮮でも同じです。

毛沢東は、中国国内から、聖書の影響力を一掃したと誇らしげでした。中国のクリスチャン達は、聖書を全部奪い取られ、迫害されたので、深夜、墓場のようなところの地下に隠れ、密かに集まり、キリスト教の短波ラジオ放送に耳を傾け、聖書の言葉を聞いたのでした。彼らはラジオのスピーカーから流れる聖書の言葉を手書きで書き取り、聖句集をつくり、それを聖書の代りにして、回し読みしたのです。

毛沢東が、共産主義徹底化のために漢字を簡略体に変え、教育を徹底しました。中国の方々の識字率がめざましく改善されました。地域紛争を沈静化させるため軍隊を派遣できるような広い軍用道路を中国大陸に張り巡らしました。

皮肉なことに、共産主義の徹底化のためにと毛沢東が導入した多くのものは、現在、聖書のメッセージが中国大陸全体に宣べ伝えられるため用いられているのです。

現在は、中国でも、クリスチャンの数が非常な勢いで増え

ています。2006年7月22(土)、ニュージーランドの Weekend Herald という新聞に God getting big in China という記事が掲載されました。見出しにこう書いてありました。

**GROWING: China now has at least 45 million Christians.**

中国でクリスチャンが少なくとも4千5百万人はいるというニュースです。

地下教会のクリスチャン達のことについて詳しい黒田禎一郎先生がお送り下さった「ミッション・宣教の声」ニュースレターの2003年3月号には、次のような報告が掲載されていました。

「中国は、約13億人の人口を抱え、そのうち約10%はクリスチャンだと言われている。」

中国政府非公認の形で集っているクリスチャン達も含めると単純計算で1億3千万人がクリスチャンだということです。地下教会に集うクリスチャン達は、ものすごい勢いで増え続けています。なんと日本の全人口よりも多い数の人々が、聖書を求め、イエスキリストを救い主と信じ受け入れておられるということです。

韓国のことは、申し上げるまでもないでしょうが、仏教徒の数は少なく、ソウルに旅行で訪れてご覧になれば、夜ホテルの窓から外を見て、十字架のネオンサインの数多いことに驚かれるに違いありません。

こうは言いますが、日本でも今から400年以上前には、本当にたくさんの人々が聖書の御言葉を信じ心に受け入れました。高槻に居住していた全領民の73%はキリシタンだ

ったと言われています。

## 聖書の言葉

**聖書はあなたに知恵を与えてキリスト・イエスに対する信仰**

**による救いを受けさせることができるのです。 2テモテ 3**

: 15

**聖書が創造主の言葉であることを裏付ける、他の書物とは、際立って違う特徴**

## 聖書は世界のベストセラー

ドイツのゲーテンベルクが16世紀に印刷機を発明しましたが、最初に印刷された書物は聖書です。それ以来、どの年をとっても聖書は最も売れているベストセラーです。世界で一年に2億5千万冊以上出版されており、(1日に68万冊以上) 日本でも年間822万冊以上印刷されています。(1日に2万2520冊以上)

以前、雑誌ダビンチに街頭インタビューの調査結果が掲載されていました。余命あと三ヶ月と宣告されたらどの本を読みたいですか? という質問に対してダントツの一位の答えは

「聖書」でした。ずっと数は減って第二位は永六輔著、「大往生」でした。十代の若者の場合、第二位は、「完全自殺マニュアル」でした。

聖書が翻訳されている言語の数は他の追従を許さぬダントツ一位です。

聖書は世界で一番多くの言語に翻訳されている本です。

1998年の統計では、新旧両訳が完成しているのは392言語、新約聖書のみだと1012言語に増えました。そして、聖書の一部を翻訳中のものを含めると、2383の言語に聖書は翻訳されているのです。全世界の言語の数は、6809言語あるといわれています。ウィクリフ聖書翻訳協会は、2025年までにこの6809すべての言語に聖書を翻訳することをゴールとしています。

ところが、聖書ほど為政者たちに嫌われ、燃やされた本も他にありません。

3世紀、ローマ皇帝のディオクレチアヌスは聖書を一冊残らず焼き払えという命令を出し、隠し持っている者を死刑に処しました。「キリスト教は滅亡した」という記念碑を作らせましたが、現在大英博物館に陳列されています。

聖書がはじめて英語に翻訳されたのはティンデルという人の働きによってでした。ドイツで英語訳聖書を1800冊印刷して英国に持ち帰ったのですが、それらは次々と没収され、現在ではたった2冊しかも断片だけしか残っていません。

日本でも、聖書を信じている人々は激しく迫害されまし

た。

法学博士、井上和夫著、光文社刊「残酷の日本史」P.22には、1627年の九州、雲仙における「キリシタン温泉地獄責め」についての記述があります。

キリシタンに対する拷問と刑罰は、日本の刑法史上もっとも残虐なものであった (P.31)

聖書が迫害されたのはどのような理由からなのでしょう。

1. 創造主の前ではすべての人が尊い価値ある存在であると教えている聖書は、封建的独裁者たち、身分制度を悪用している専制君主たちにとって都合が悪かったのです。
2. 創造主の前ではすべての人が罪びとであり、責任があると聖書が教えているのは、独善的な為政者たちにとっては、不都合だったからです。
3. 政治的権力を握った宗教家たちにとっても、民衆が聖書を読み、理解することは脅威だったからです。カトリック教会は、ルターの訳したドイツ語の聖書を燃やしました。

しかし、聖書は、人類にもっとも大きな影響を与えました。

- A. 自由、平等、博愛の基盤や民主主義思想の土台となったリンカーンの「人民の人民による人民のための政治」という有名な言葉は、ウィクリフという人が英語に翻訳した聖書の序文に記してあった「聖書は、人民の、人民による、人民のための政治を可能とならしめる」という文

章からリンカーンが引用したにすぎない言葉だったので  
す。

#### B. 世界各国の法律の土台となった

日本の明治憲法は、プロシア憲法を伊藤博文らが研究して、立憲君主制国家にふさわしい憲法をとということで草案されたのです。プロシア憲法や、ワイマール憲法のもとになっているのは聖書と、聖書をもとに作られたユダヤ人のタルムードという聖書の律法を具体的に適用するための本でした。

現在の日本国憲法は戦後、アメリカの人々が理想的な新生日本のために与えてくれたものです。当然、その基盤となった道徳観、倫理観は聖書です。日本の憲法も法律も基盤は、聖書の教えにあります。

#### C. 女性の尊厳と地位

かつてはほとんどの国で女性は卑しいものとされ、見下されていました。仏教の教えは女性をひどく卑下しています。

1. しかし聖書は、キリストにあっては男も女も奴隷も自由人もないと教えています。
2. 大正デモクラシー、婦人参政権運動をした人々はみな聖書から影響を受けた人々でした。
3. 日本ではじめて医師になった女性は萩野吟子（渡辺淳一「花埋み」）で、彼女は、聖書を信じている人でした。

#### D. 近代文明の土台は聖書がつくった

1. 科学 ニュートン、パスカル、ファーブル、パスツ

ール、メンデル等

2. 芸術 音楽の父と呼ばれるバッハやヘンデル； 絵画 聖書を主題
3. 文学 トルストイ、ドストエフスキーなど 明治の文学者たち
4. 映画 天地創造、十戒、偉大な生涯の物語など聖書を題材とするものや、ベンハーや、など聖書の教えをテーマとする作品がたくさんあります。

### ウガンダ・エイズ激減の秘密

ウガンダという国はアフリカ大陸にあります。ウガンダは、世界のなかで最も寛大な難民受け入れ国のひとつです。ウガンダと聞くと重要なキーワードが二つあります。二つともこの国に悲惨をもたらしました。それらは、イディ・アミンとエイズです。

#### イディ・アミン

イディ・アミン・ダダは、イスラム教徒の家に生まれ「アッラーが夢の中に出てきて、俺様にウガンダの統治を任せただ！」と普段から公言してはばかりませんでした。アミンの8年間に亘る暴政下、30万人が殺されたとも50万人が殺されたとも言われていま

す。

## エイズ

ウガンダにとって悲劇をもたらしたもう一つのものは、エイズです。

ウガンダでは一時、成人(18~45歳)の30%近くの人がHIV(エイズ)の感染者でした。イディ・アミンの恐怖から逃れたウガンダの人々は、今、また別の意味で亡国の危機に瀕しました。しかし、ウガンダでは、天地宇宙の創造主を聖書から信じる人々が増え、現在、国民の60%がキリスト教徒となっています。

ムセヴェニ大統領は、この新たな亡国の危機に対し、断固たる態度で取り組む決意をしたのです。NHKをはじめとする日本の報道機関は、ウガンダ政府がコンドームの使用を国民に勧めたのでエイズ感染率が低下したかのように報道していますが、とんでもないことです。

HIV(エイズ)感染予防に最も重要なことは、避妊具をもちいることなどはなく、「婚前、婚外セックスは絶対しないこと！」なのです。ムセヴェニ大統領も、ウガンダ・エイズ・コミッションもこの性に関する聖書的価値観、倫理観を国民に守るよう命じたのでした。その結果、ウガンダの成人エイズ患者数は、30%から10年間で激減しなんと2001年には、成人HIV(エイズ)感染者率が5%まで下がったのです。

一般に日本で、マスコミがあたかも常識であるかのごとく報じている、コンドームの使用による「セーフ・セックス」で

は、エイズは減少しないのです。

ハーバード大学、人口開発研究センターのエドワード・グリーン教授が調査した結果、判明した真実は以下のことでした。

「ウガンダのエイズ患者が激減した最大の原因は、人々が安易に性交渉をしなくなったためだ。」

ウガンダでエイズ感染者が激減したのは、コンドーム使用を勧めたからではなくて、ムセヴェニ大統領が、国民に以下のアピールをしたからでした。

「むやみやたらセックスはしない。結婚相手に対して忠誠をつくす。それがいやなら死ぬだけだ！」

日本の若者たちが、もしコンドームの使用で安心し、エイズに対して楽観的な見方をしているとしたら、潜伏期を内に秘めた時限爆弾を自分の体に埋め込んでいる可能性が大であることを知るべきです。

## 聖書のことば

不品行を避けなさい。人が犯す罪はすべて、からだの外のもの

です。しかし、不品行を行なう者は、

自分のからだに対して罪を犯すのです。

1 コリント 6:18



## 福沢諭吉を感動させたこと

一万円札でおなじみの福沢諭吉と聞けば、皆さん、何を思い出されるでしょうか。有名な言葉がありますね。そうです。「天は人の上に人を造らず人の下に人を造らず」という言葉です。

でも、この言葉が記されている「学問のすすめ」をよく見ると、実はあとに言葉が続いてるんです。「天は人の上に人を造らず、人の下に人を造らずと云へり。・・・」

“云へり”って書いてあるのですからこの言葉は、諭吉のオリジナルではないということのようです。

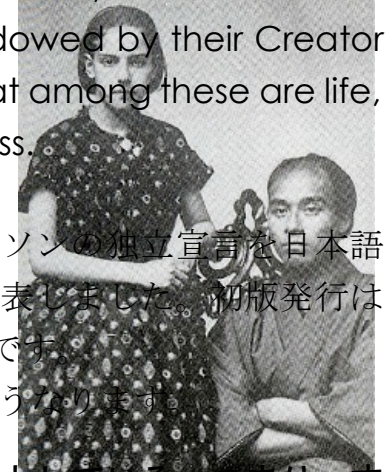
「天は人の上に人を造らず人の下に人を造らず」という言葉は、江戸時代からの士農工商という身分制度、つまり、カースト制度が、長いこと続いていた当時の日本人にとっては、とても耳新しい言葉でした。

勝海舟と一緒にかんりんまる咸臨丸に乗ってアメリカに行ったことのある諭吉は、1860年、サンフランシスコの写真店の娘さんとツーショットで写真を写しました。これをことのほかお気に入り宝物のようにしていた諭吉でした。その写真を帰国の船中、周囲の人々に披露し、うらやましがらせていたといいます。

日本から来た諭吉も、写真屋の娘も、大統領さえも、お話しするのに"YOU"でことたりるアメリカ、これは、諭吉にとっては大変な衝撃、ショックだったようです。こりゃ、学問のススメの最初にもってこなきやいけないと思うほど、重要だとそう諭吉は確信したようです。

実は、この「天は人の上に人を造らず、人の下に人を造らずと云へり。」というの、いったいどこで「云へり」だったのかを調べてみました。そうしたらなんと、この文章の内容は、なんと、福沢諭吉が、米国独立宣言文の中にある一部から拝借してきたものだったらしいのです。原文ではこう書かれています。

We hold these truths to be self-evident, that all men are created equal, that they are endowed by their Creator with certain unalienable rights that among these are life, liberty and the pursuit of happiness.



福沢諭吉は、トマス・ジェファークソンの独立宣言を日本語に翻訳して、西洋事情 初編 に発表しました。初版発行は1866（慶応2）年で出版社は尚古堂です。

現代の日本語に訳してみますとこうなります。

我々は以下のことがらを自明の真理としている。つまり、す

べての人は、創造主によって等しく造られたものであり、他

者に奪われてはならない、固有の権利を賦与されているという  
 ことである。そして、それらの中には、生存と、自由の権  
 利、そして幸福を追求する権利などが含まれている。

天地万物を無から創造された造り主は、私たちの命をも始  
 めてくださったお方です。そのお方にあっては、私たちは、  
 等しくいのちと自由、そして幸福を追求する権利が保障され  
 ているというのです。この概念は、福沢諭吉にとっては新鮮  
 なものでした。しかし、これは、日本の歴史で言えば、古き、  
 弥生式土器中期の時代に、書き記された、イエス・キリスト  
 の言葉と新約聖書に教えられていることがらだったのです。

## 聖書の言葉

ですから、もし子(イエス・キリスト)があなたがたを自由に  
 するなら、あなたがたはほんとうに自由なのです。 ヨハネ  
 8:36

ユダヤ人もギリシヤ人もなく、奴隷も自由人もなく、男子も  
 女子もありません。なぜなら、あなたがたはみな、キリスト

・イエスにあって、一つだからです。 ガラテヤ 3:28

兄弟たち。あなたがたは、自由を与えられるために召された  
 のです。ただ、その自由を肉の働く機会としないで、愛をも  
 って互いに仕えなさい。 ガラテヤ 5:13

## 西郷隆盛も天と人について語った

さて、諭吉同様、明治の勇として有名な西郷隆盛という人  
 物がいます。彼が好んでよく使った言葉として記録されてい  
 るものに「敬天愛人（けいてんあいじん）」という言葉があり  
 ます。

明治 22 年 2 月 11 日、旧庄内藩士の人々が、西郷隆盛から学  
 んだ様々な教えを一冊の本に編集し南洲翁遺訓として出版し  
 ました。この遺訓の中には、西郷隆盛が終生、自己修養の目  
 的とし、信仰的な天命自覚の哲学として考えていた、上記の  
 「敬天愛人」が紹介されています。

## 遺訓の第二十四

「道は天地自然の物にして、人はこれを行うものなれば、天

を敬するを目的とす。天は我も同一に愛し給ふゆえ、我を愛する心を以て人を愛する也。」

(西郷南洲顕彰会発行・南洲翁遺訓より)

現代の日本語に訳せば以下のような内容になります。

「道というのはこの天地のおのずからなるものであり、人はこれにのっとって行うべきものであるから、何よりもまず、天を敬うことを目的とすべきである。天は他人も自分をも平等に愛したもうから、自分を愛する心をもって、人を愛することが肝要である。」

天、あるいは上帝(シャンティ)という漢字は、孔子や孟子が出現するはるか以前、大昔から中国では、天地宇宙万物の創造主を現す用語でした。敬うという動詞は、人格をもった相手に対して用いるものです。諭吉が引用した、「天は人の上に人を造らず、人の下に人を造らずと云へり。」という文章の天が聖書の創造主を意味していたのと同様、西郷隆盛が敬うべきであるとした天も、天地宇宙の創造主のことだと考えてそう的外れではないでしょう。

さらに、明治時代、日本では、漢字の「愛」という字は、もっぱら、男女間の色・恋をあらわす語だったのですから、西郷隆盛がいわんとしたことは不倫のススメだと思う人がひょっとしておられたかもしれません。でもそれは大きな間違

いです。聖書を明治時代に日本語に訳した時、「神は愛なり」という訳文を読んだ明治時代の人たちは、「聖書の神は卑猥な神だ！」とって腹を抱えて笑い、けなす人たちがいたそうです。

けれども明治時代のクリスチャンたちは、その中傷にもめげず、この「愛」という漢字をイエス・キリストによって現された、創造主の無限の慈愛、自己犠牲をともなう無償の博愛を意味する新しい語として説明をし続けたのでした。その背景を考えて見ますと興味深いことは、西郷隆盛はクリスチャンではなかったかもしれませんが、聖書が伝えている「愛」という概念とほぼ等しい意味で、他者を大切にし、その人の最善を求めるといふ、隣人愛を座右の銘としたようです。

## 聖書の言葉

愛する者たち、私たちは、互いに愛し合ひましょう。愛は創造主から出ているのです。愛のある者はみな創造主から生まれ、創造主を知っています。愛のない者に、創造主はわかりません。なぜなら、創造主は愛だからです。

創造主は、そのひとり子(イエス・キリスト)を世に遣わし、



その方によって私たちに、いのちを得させてくださいました。ここに、創造主の愛が私たちに示されたのです。私たちが創造主を愛したのではなく、創造主が私たちを愛し、私たちの罪のために、なだめの供え物としての御子(イエス・キリスト)を遣わされました。ここに愛があるのです。 ヨハネ

#### 第一の手紙 4:7-10

### 僕が今、ここに生きているということは

一九四五年八月六日、一発の原爆が広島上空で爆発しました。広島市は一瞬にして壊滅し、二十万の人命が失われました。即死した方々以上の苦しみは、被爆なされた患者の方々でした。全身大火傷を負い、収容所内に運ばれた人々は、顔も腹も背もその手足も、皮膚がなくなり、血が吹き出して、大変悲惨な状況でした。高熱と出血のために、喉は焦げつくように渴きます。「水ッ、水ッ！」と水を求めても、一滴の水も与えられないまま、何人もの方々が息を引き取っていきます。まさに焦熱地獄そのままでした。

そうした中で、「お産だッ」という声があがったのです。こんな時にも出産はあります。大火傷を負い、死に行く人々の収容所のような所です。他人を顧みる余裕などない、そんな状況でした。

ところが隅の方から「私をそこへ運んで下さい。私は助産婦です」という声が聞こえました。

ふと見ると、この方の顔面も胸の皮膚もペロリとむけて、全身が血だらけです。「そんな重傷では無理でしょう」と周囲の人々が忠告したのですが、彼女は首を横に振ります。そのたつての願いに、比較的軽症の患者たちが、手とり足とりして、この助産婦さんを赤ちゃんを産もうとしている女性のもとへと運んで行きました。

その助産婦さんの手には、皮膚がなく、指先はただれた肉が垂れさがっています。その手で、赤ちゃんを産もうとしているお母さんの出産を手助けしようというのです。なんという使命感でしょう。

しばらくして、「おぎゃあー」という元気な声とともに赤ちゃんは産まれました。だれかが「男の子だっ」と叫びました。

その声を聞くと、その助産婦の女性は、精も根も尽き果てたように、首を垂れて息を引き取りました。

その赤ちゃんの母親も助産婦に続いて死んでしまいました。

しかしこの赤ちゃんは無事に育ったのでした。この方は後に、クリスチャンとなられ、キリスト教社会福祉に携わるよ

うになりました。障碍を抱え、困難をおぼえている方々へのご奉仕をなしつつ、彼はこうあかしされました。

「僕は両親の顔を見たこともなければ、名前も知らないのです。ですから、自分が、どんな氏素性かも知るよしありません。しかし、僕が今、ここに生きている、という事実は、僕に両親があった証拠です。」

「それと同じく、僕は神の御顔を見たことはありません。しかし、この広大無辺の美しい自然界を見るだけでも、この宇宙を造られた神の存在を僕は、否定することができないのです。」

「伝え聞く、広島に原爆が投下された日、母は全身大火傷を受けた重症の中で、僕を産んでくれました。そしてそれを助けた助産婦の方が、これまた重症の中で、僕の出産を助けてくれたといいます。」

「そして、それは、僕が神の子となるために、神の御子イエスさまが十字架で血を流して僕の罪のために身代わりに死んでくださったと聖書が語る事実と、それを僕の魂に啓示して下さる聖霊のお働きがあることを理解させてくれるのです。」

「僕には母の愛と神の愛とが二重写しに迫るのを感じます。だから僕は、この人生をおろそかには生きられないのです。生かされている限りは、神と人とにご恩返ししたいと思わずにはおれないのです」と。